

中央公民館エリア「公共施設」再編研究ワークショップ



かわら版 20180609 Vol.1

鴻巣市では老朽化が進行する公共施設に対し、限りある財源の中で、将来を見据えた「施設のあり方」を検証し、より良い資産を次世代に引き継いでいくための計画を作る必要性が生じています。

今回の「ワークショップ」は、公共施設が多く集積し、老朽化が進む「中央公民館周辺エリア」をモデル地区として、地域の特性や施設の置かれている状況を踏まえ、「地域に本当に必要な公共施設」について、施設の主体者である「利用者＝市民」と一緒に考えるものです。

第1回（中央公民館研修室）

2018年6月9日（土）9:30～12:00

①6/9 ②6/16 ③6/30 ④7/14
全4回（土曜日AM開催）

第1回目は、公募や団体推薦の市民、鴻巣中学校や鴻巣女子高の生徒さん、併せて25人の参加者とBaSSプロジェクト4人、前橋工科大学堤研究室学生5人、市若手職員5人

合計39人の参加により開催されました。

第1回のテーマ「現場を知る」

- 鴻巣市を取り巻く環境について
- 周辺の公共施設を思い出そう
- エリア内の施設を見てみよう



参加者は、年齢や男女比等を考慮した上で、A～Eの5グループに分けられました。

なお、各グループに市若手職員と前橋工科大学学生をそれぞれ配置し、グループの庶務を行います。

最初に鴻巣市を取り巻く環境について、「公共施設等総合管理計画」に基づき、人口の推移や保有する施設量、厳しい財務状況などを中心に説明しました。

グループに分かれて、まずは「積み木式自己紹介」。グループ内で1番目の人から順に名前や所属団体、意気込みなどをアピールします。すると次の人からは「〇〇さんの隣の●●です。」と前の人の名前を言ってから自己紹介をする、といった具合に、どんどん積み重ねていきます。5人目、6人目となると、大変……。グループ内で「笑顔」が見え始め、自然と会話も生まれました。



今日のグループ作業は、「市内の知っている（行ったことがある）」公共施設を書き出してみよう！という作業。「付箋」に公共施設の名前を書き出します。そして、地図上の位置にペタリ。

各グループでの意見



A グループ

- ◆中学生を中心としたグループ
- ・近隣の小学校、中学校の校舎が古い。
- ・学校行事等で、クリアこうのす・総合体育館・陸上競技場を利用したことがある。
- ・鴻巣公園は、広くて使いやすい。
- ・こうのすシネマは、手頃な価格設定もあるので行きやすい。

B グループ

- ◆鴻巣女子高生を中心としたグループ
- ・駅と学校の往復のため、市の公共施設をあまり利用しない。
- ・学校の校舎が古く、雨漏りしている。
- ・映画館は、チケットを買ってからホールまでが遠くて不便。
- ・市役所の場所が分かりにくい。

C グループ

- ◆20代～40代を中心としたグループ
- ・公民館やクリアこうのすをよく利用する。
- ・図書館にカフェがあるのが良いが、もう少し広いと利用しやすい。
- ・児童センターに初めて入った。利用したことがない施設が多いことに気づいた。
- ・児童公園に市役所があったことを知った。

D グループ

- ◆30代～60代を中心としたグループ
- ・コミュニティセンターの駐車場が狭い。
- ・図書館の自習スペースが狭い。
- ・多くの公共施設が老朽化している。
- ・女子高など県の施設も利用しやすくなるが良い。市の施設でも所管が違くと申請方法が異なり、利用者視点で不便を感じる。

E グループ

- ◆60代・70代を中心としたグループ
- ・鴻巣地域は、地区ごとに拠点となる公民館があり、しかも利用料が安い。
- ・貸館が中心となっているが、予約が2ヵ月前からで取りづらい。予約方法を改善してほしい。
- ・学生の学習スペースを確保したい。

「現場を知る」というテーマのもと、最後は現地視察。

グループごとに、市若手職員の案内で中央公民館・放課後児童クラブ・児童公園・鴻巣東小学校児童センターなどを視察。途中、児童センターのプラネタリウムも見学させていただきました。



次回：6月16日（土）

主催：鴻巣市

協力：公共資産経営研究プロジェクト（BaSSプロジェクト）